

# M153-1 “でんちゅう”くん Type II



SAKAMOTO MODEL  
CORPORATION

ユーザーズマニュアル (151218)

## — I N D E X —

|           |   |
|-----------|---|
| ●はじめに／もくじ | 1 |
| ●目的／内容    | 2 |
| ●取扱上の注意   | 3 |
| ●使用手順     | 4 |
| ●保管方法     | 5 |

！  
ご注意

商品到着時、すぐに本体と付属品を御確認頂き、不備、破損等ありましたら弊社または販売店まで御連絡頂けます様お願い申し上げます。

株式会社坂本モデル



こちらで動画をご覧いただけます。→



M153-1

## はじめに

---

この度は弊社商品 “でんちゅう” くん Type II をご購入頂きまして誠に有難うございます。

商品を長く正しくお使い頂くために本ユーザーズマニュアルをよくお読みいただきご使用下さいます様お願い申し上げます。

尚、商品出荷時製品の点検は十分に行っておりますが、商品到着時すぐ開梱し、本体及び付属品の不足、破損箇所等が無い  
か点検して下さい。

## もくじ

---

|          |   |
|----------|---|
| はじめに／もくじ | 1 |
| 目的／内容    | 2 |
| 取扱上の注意   | 3 |
| 使用手順     | 4 |
| 保管方法     | 5 |

## 目的

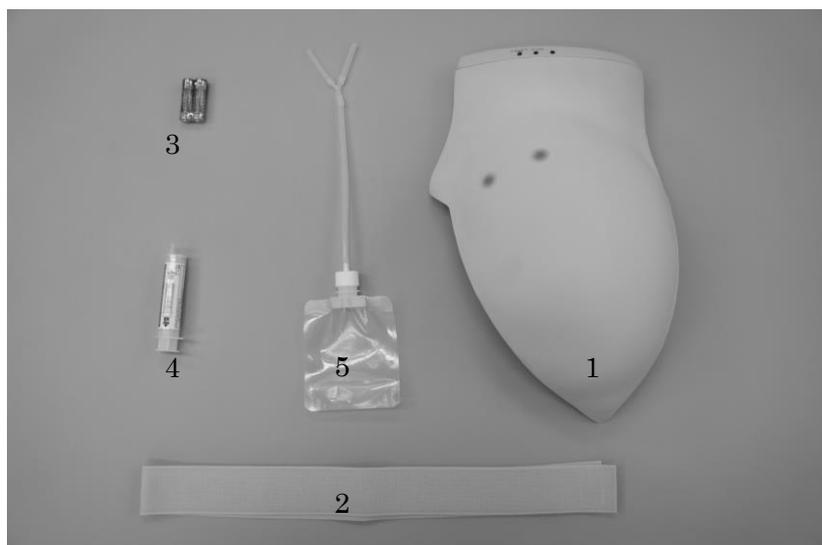
下記の注射実習が可能

### 1 殿部筋肉注射の正誤判定

(クラークの点・ホッホシュテッターの部位)

## 内容

- 1 本体
- 2 装着用ベルト 1本
- 3 乾電池 (単3型アルカリ乾電池 2本) 1組
- 4 排水用シリンジ 1本
- 5 排液バッグ 1ケ



## 取扱上の注意

- 1 本商品で注射の実習をされる際には針先の新しいものをご使用下さい。  
故障の原因になる恐れがあります。
- 2 実習の際には、水（水道水）のみ使用して下さい。  
水以外の液体は使用しないで下さい。
- 3 水を注入する場合は、緑色ランプの点灯の場合のみ注入できます。  
それ以外の場合に水の注入はしないでください。
- 4 電池は単3型アルカリ乾電池2本をご使用ください。  
取り付けは+、-に注意して入れてください。ブザー音が小さくなったり、  
ランプの点灯が暗くなると、電池を新しいものと交換してください。
- 5 本商品を装着して実習する場合、二人一組のペアで実習を行ってください。
- 6 汚れた場合には、柔らかい布に台所洗剤をつけて拭き取ってください。  
ベンジン、シンナー、磨き粉等は使用しないでください。
- 7 落とすと破損の恐れがありますのでご注意下さい。
- 8 本商品は四分三分法には対応しておりません。  
(M153 でんちゅうくんは対応しております。)
- 9 使用中異常を見つけられたら、すぐに使用を中止し弊社または販売店まで  
ご連絡下さい。
- 10 本製品は高度な訓練を実現させたシミュレーターですが、実際の処置での  
同様の効果を保証するものではありません。
- 11 本製品は改良の為、予告なしに仕様変更する場合がございます。  
あらかじめご了承下さい。

## 使用手順

- 1 始めに本体排液口に排液バッグをとりつけてください。
- 2 本体に電池を入れてください。
- 3 本体スイッチをオンにしてください。
- 4 マジックベルトを腰部に装着して下さい。
- 5 本体と装着者の大転子を合わせる様装着します。
- 6 実習の際には、水（水道水）のみ使用して下さい。  
水以外の液体は使用しないで下さい。  
水を注入する場合は、緑色ランプの点灯の場合のみ注入できます。  
それ以外の場合に水の注入はしないでください。
- 7 実習して下さい。
- 8 内蔵ランプとブザーで筋肉内注射の正誤を判定します。
  - ・深さを含めて正しい位置でできた場合、緑色ランプが点灯します。
  - ・注射部位に誤りがある場合は赤色ランプが点滅し、ブザーが鳴ります。
  - ・位置は正しいものの深過ぎた場合は、赤・緑両方のランプが点滅し、ブザーが鳴ります。
- 9 実習後、排液バッグを根元から外し、中の水は捨てて保管して下さい。
- 10 チューブ内の水滴を排出するなど必要な際は、排水シリンジにて排水して下さい。

## 保管方法

- 1 排液バッグの水を捨てた後、ほとんどの水は、排出されますが排液チューブ内の水分が気になる場合排水用シリンジを用いて排水できます。その後、殿部を上向きに置いて保管して下さい。
- 2 直射日光のあたる場所や高温多湿の場所を避け保管して下さい。
- 3 模型を保管するときは、電池を必ず取り出して下さい。  
電池を入れたまま保管すると、電池が腐食し通電不良の原因となりますのでご注意ください。

# 株式会社坂本モデル



|    |   |
|----|---|
| 本社 | 〒606-0865<br>京都市左京区下鴨東高木町34   |
|    | Tel 075-701-1135  |
|    | Fax 075-722-5638  |
|    | URL <a href="http://sakamoto-model.co.jp">http://sakamoto-model.co.jp</a>   |
|    | E-Mail <a href="mailto:info@sakamoto-model.com">info@sakamoto-model.com</a> |

|      |                 |
|------|-----------------|
| 大阪工場 | 〒562-0035       |
|      | 大阪府箕面市船場東1-9-29 |